

令和7年2月5日

報道機関 各位

射水市民病院に 膵臓・胆道サテライトセンターおよび 乳がん先端治療・乳房再建サテライトセンター設立

2025年4月1日、射水市民病院に膵臓・胆道サテライトセンターおよび乳がん先端治療・乳房再建サテライトセンターが設立されます。富山大学附属病院において、膵臓・胆道センターは2018年に、乳がん先端治療・乳房再建センターは2020年に設立され、膵がんをはじめとする高難度の膵臓・胆道疾患の診断・治療、乳がん治療を行って参りましたが、大学病院で行っている検査や診察・治療を今後は射水市民病院でも受けることが出来るようになります。

サテライトセンターの設立により、射水市民病院の地域性と大学病院の専門性を併せ持った診療体制を提供できるようになります。

ついては、取材・報道方よろしくお願いたします

なお、本センターの設立に際し記者会見を行う予定はありませんのでご了承ください。

■膵臓・胆道サテライトセンターの特徴

(1) 富山大学附属病院と連携した専門性の高い治療

富山大学附属病院膵臓・胆道センターの医師が外来診療を行い、精密検査や化学療法などの治療、手術後の定期検診などを行います。高難度手術や遺伝子診断などの専門性の高い診療は富山大学附属病院で行うなど、綿密な病診連携を行うことにより、従来より専門性が高く、1人1人にとって最善の医療を提供できるようになります。混雑している大学病院の外来に通院し続ける必要が緩和されるため、通院の負担も軽減されます。

■乳がん先端治療・乳房再建サテライトセンターの特徴

(1) 女性医師による診察

富山大学附属病院で乳腺診療を専門とする診療科長および女性医師が、射水市民病院で診療を行います(曜日により担当医師は異なります)。また、マンモグラフィーや乳腺エコーなどの乳房検査も女性検査技師が担当しているため、安心して受診していただける体制となっています。

(2) 総合的な乳腺ドックの開設

乳房マンモグラフィー、乳腺エコー、検査後の医師の診察・結果説明・相談・定期ケアなどの総合的な乳腺ドックを開設します。大学病院にはない健診部門も担い、まだ乳がん検診

を受けたことがない方や、これまで検診は受けていたけれど不安がある、検診結果だけでなく医師の診察も受けて相談したい方など、どなたでも気軽に受診することができます。

(3) 富山大学附属病院と連携した専門性の高い治療

富山大学附属病院の女性医師による診察に加え、手術や化学療法、放射線療法などの治療や、専門性の高い遺伝子診断は富山大学附属病院の乳がん先端治療・乳房再建センターと共同で行います。また乳房再建を希望される場合も、富山大学附属病院 形成再建外科・美容外科との連携によりスムーズな外来受診や相談が可能です。治療後の経過観察や投薬も受けられ、通院の負担も軽減されます。

【本発表資料のお問い合わせ先】

富山大学病院企画課総務・広報係 合林

TEL : 076-445-7019(直通) Email : hosoum@adm.u-toyama.ac.jp